

西部公民館だより

発行 西部公民館
 神戸郷町吉町田12-1
 TEL:68-7233

10月実績と11月の計画

日程	事業名称	実績	備考
10月7日(月)	すこやか講座(6) 社会見学	済	
10月16日(水)	すこやか講座(7) 健康教室	済	
10月19日(土)	生涯学習講座 押絵教室(1)	済	
10月26日(土)	生涯学習講座 押絵教室(2)		
11月2日(土)	生涯学習講座 押絵教室(3)		
11月16日(土)	公民館まつり実行委員会 (関係代表者)		

みんなで歩こう健康作り大会



【公民館出発】

9月28日(日)に令和6年度 歩け歩け健康作り大会を開催しました。前日は雨が降り、当日も微妙な天候で開催可否を迷いましたが、降雨でなければ開催するつもりでしたので決行しました。



【第二休憩地点 聖山山登山口】

今回は保育園児も3名参加し総勢43名で白龍の滝を目指す往復8.2kmの行程です。前日の雨もあり山中の道路状況も心配でしたが、歩くには支障ない状況でした。小学生は元気一杯で先導車の後ろについて坂道をずっと走っていく強者もいました。



【目的地の白龍の滝で記念撮影】



【下り坂は皆さん歩くのが早い】

目的地で館長より白龍の滝の話聞き、秋の道役の山の起点であることも紹介しておきました。下山途中で少し雨が降りましたが山中なので殆ど濡れずすみしました。



【無事完歩して参加賞のアイスを頂きます】

すこやか講座 (6) 社会見学

10月7日(月) 社会見学に行ってきました。今回は総勢44名と、ここ三年の内で最多の参加者になりました。今回は愛知豊明花き地方卸売市場をメインに見学してきました。この市場は鉢物の取り扱い数は東洋最大との説明がありました、訪れた時はセリを行っている最中で窓越しにセリの様子を見学出来ました。セリの参加者は花屋さんで対象は全国ということです。セリの会場に行かずともオンラインでセリに参加できる為、遠方の方がわざわざ足を運ばず欲しい花が手に入るので市場としては先進的なのかと思いました。会場の参加者も大型モニターに映された商品のみで判断するので自宅での参加でも不利は無いかなと素人目には映りました。セリ会場は大型モニターが5台設置されセリ人は3名でした。参加者は50名ほど(オンライン参加の方除く)でいわゆる市場のセリと同様威勢の良い声が飛び交っていました。



【セリの様子をのぞき込む参加者】



【セリ落とされた品を台車で運搬する人が目まぐるしく場内を行き来しています】



【豊明から移動して、昼食を頂きました】



【南知多町花ひろばでバスをバックに記念撮影】

すこやか講座 (7) 健康教室

10月16日(水) すこやか講座 健康教室を開催しました。今回は明治・安田の社会貢献事業の一つで健康関連の講座を担当して頂きました。テーマは【楽しく学ぶ！認知症予防講座】でした。講座参加者の多くが高齢者であり皆さん少なからず認知症への恐れも抱く年齢の方々でした。講座で認知症を正しく理解して生活習慣の中で予防できることを学んだので今後の生活で意識して頂ければよいと思います。**Ex.週3回・週2時間以上の運動をしている人は認知症になる危険性が低い。1日30分で週4回でOK**



【血管年齢計測の様子】

園児・児童お楽しみ会

10月9日(水)に公民館において、園児、児童お楽しみ会を開催しました。

毎年10月と2月に開催しており、10月は敬老者へのプレゼント制作を頑張ってくれた5年生児童も招いて、園児と一緒に鑑賞してもらっています。

今回の公演は一人人形劇で活動されている市川達也さん、劇団名トンカチを招いての開催でした。

市川さんは西部保育園、西部小学校の卒業生で現在64才になる年なので西部小学校を50年以上前に卒業されています。

今回の演目は【なかよし】、【腹ペコジョーズ君】の二話でした。

劇で使用する小道具類は全て手作りで良く出来ていました。

最初の演目は園児たちはきゃあきゃあ言いながら楽しく見ていました。二話目になるとジョーズ君の登場場面では園児の中には怖い〜という声も漏れていました。人形自体は怖くないのですが、市川さんの声があったのではと思いました。学生時代から始めたとのことですのでこの道40年以上のベテランですので声も迫力がありました。

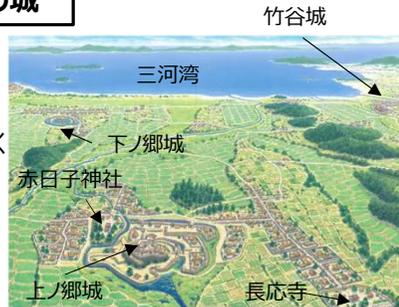


【初めの挨拶をする市川さん】



ワイド&パノラマ 鳥瞰復元イラスト 合戦の城

合戦の城というA4版の冊子が発売されています。城郭イラストの第一人者が書かれた物で、上ノ郷城のページは上ノ郷城を中心に三河湾側を鳥瞰したイラストとして遠く伊勢方面まで書かれており、当時の風景が良く分かります。日本全国の名だたる城郭が立地と共に表現されており、イメージしやすいイラストです。公民館でも1冊所蔵しております。興味のある方はご購入下さい。この手の冊子で上ノ郷城が取り上げられるのも【どうする家康】効果でしょうか。



令和6年度生涯学習講座 押絵

10月19日(土) 今年も年末に向けて恒例の生涯学習講座 1,300年の歴史ある伝統工芸「押絵」講座全3回の内の第1回目を開催しました。興味のある方は公民館まで連絡下さい。



【制作の様子】



【完成予定 干支 巳】



【参加者集合写真】

鵜殿氏の研究のこぼれ話 (14)

鳩ヶ谷の鵜殿氏について (石井 文雄)

埼玉県鳩ヶ谷市は、平成二十三年に川口市と合併して、その一部になりました。東京都足立区とも接しています。私は、鳩ヶ谷市をたずねたことがあります。郷土史家の岡田博氏に連絡をとって、地蔵院に小谷三志と鵜殿氏の墓碑をたずね、話を聞きました。

富士山は、日本一の山です。信仰の山として登拝する人もいます。本来は、火の神で、噴火災害を恐れる心が、信仰の起源です。浅間大神や浅間(仙元)大菩薩とも言います。

富士講を中興した食行身祿の孫弟子の伊藤参行を見つけて、鳩ヶ谷に迎えたのが小谷三志です。もともと富士講は、檀家制度によって支えられる公認の宗教ではなく、信者の相互扶助や慈善事業の側面がありました。

三志は、信仰登山も人並み以上にしましたが、現実の男女格差解消や貧困救済のような哲学を持ち、不二道または不二孝として、鳩ヶ谷を地盤に活躍しました。その娘が嫁いだ相手が、志毛藕塘です。本名は、鵜殿正応と言って、遠州志都呂の旗本松平氏の家臣でした。五井松平氏は、新宮十郎行家の子孫の鵜殿行光を討伐して五井を領した伝承があり、五代景忠の弟の新兵衛正幸が分家して鵜殿氏を名乗りました。

鵜殿正応は、ある事件に連座して、二十五歳で松平氏を辞し、弟の正麗に家督を譲りました。漢学を修めて、市井の学者として身を立てました。弘化二年に死去し、四十九歳の若さでした。不遇に負けて、酒害で寿命を縮めたそうです。江戸の湖雲寺に葬られました。

後家のいちは、鳩ヶ谷の小谷家に戻り、幼い子を育てました。その子は成人して鵜殿直記を名乗り、不二道の後継者として努力しました。教部省に就職し、神道教化に励みます。明治維新で、教派神道が公認されると、不二道を改組して神道実行教に作る動きがあり、京都出身の徳大寺参行と肥前出身の柴田咲行が実権を握り、直記は名目だけの道主でした。

鵜殿直記は、布教先の信州小県郡長瀬村の池内やそと結婚しました。後家になったやそは池内家の兄の子の正雄を四歳で養子に貰いました。登山家として有名な鵜殿正雄です。

秋の交通安全運動開催

9月21(土)~30(月)の10日間 秋の交通安全運動が開催されました。

この期間、学校南の丁字路及び国京横断歩道で西部地区交通安全推進協議会メンバー及び協力員により7:40分~8時10分まで立哨を行いました。

丁字路、国京道路とも通学時の交通量は多いと思います。本年度中の23号バイパス全線開通で交通量がどの程度減少するのか不明ですが、危険なポイントなので交通量が減ったとしても注意が必要です。

皆さん一旦停止の確実な停止と安全確認をお願いします



みかんの丘るりんバス利用実績

西部地区支線バス「みかんの丘るりんバス」9月乗車人数報告

9月の乗車人数は合計143人でした。1便当たり平均乗車人数は1.3人です。

秋が深まる今日のごろ、朝夕すっかり冷え込むようになりました。体調に気をつけて、お出かけの際は、便利で快適なみかんの丘るりんバスをご利用ください。

短い乗車時間ですが、車窓からの秋らしい木々の色の移り変わる景色もお楽しみください。